

広報系ミッションの活動報告

観光学部 1回 八木悠太

活動の目的

当ミッションの目的は、和歌山縦断走行に必要な情報収集と、資金、物資の獲得である。また、本番走行の準備として、主に渉外の役割を担う

活動内容

・ 企業へのスポンサー交渉

予算が限られている中でも資金や物資を調達するため、企業へスポンサー契約の話を持ち掛けた。また、その際に用いる資料を作成。

・ 公道走行の許可の取得

和歌山県警へ出向き、道路交通法に基づいて、車体のサイズが違反していないかを確認していただいた。また、自転車を実際に持ち込んで、ブレーキの精度や、車体の耐久性を実証した。

・ 各市町村への道路使用の通知を送付

縦断走行の際、通過する市町村へ事前に走行通知を送付

・ 役場へ自転車保管を要求

走行後の自転車の保管場所を確保するため、役場に問い合わせた。



・ Twitter や Facebook の更新

活動状況を報告する為、SNS を用いた情報発信を行った。

・ メディアへの対応

NHK への出演や新聞社の取材を受けた。

・ 報告書の作成

毎月、報告書を作成することで、反省点を話し合い、今後の活動に活かした。

活動の成果

・ 以下の企業とスポンサー契約を結ぶことができた。

株式会社キナン様

建設機械のレンタル事業を展開

CSR 活動として、紀伊半島の大豪雨の復興支援活動や、サイクルイベントの開催などを行っている。

株式会社東テク様

空調設備の設置を行う

2 社が合同してソーラーパネルを SHARP より受注している。

今回そのソーラーパネルをプロジェクトに寄付していただくことになった。



- 公道走行を認めていただき、各部署へ通知分を送って下さった。



- 白浜町役場に一晚自転車を置かしていただいた。
- Twitter や Facebook を更新することにより、学内だけでなく学外の方にプロジェクトの内容を知っていただくことができた。
- 紀伊民報、熊野新聞、毎日新聞、NHK、広報室から取材を受けた。



今後の目標

- ・和歌山での大きなイベント（国体の開催、高野山開創 1200 周年）へ参加
- ・また、クラウドファンディングによる資金の獲得を目指し、リターンとしてのポストカードやポスターなどを作成
- ・スポンサーを増やし、活動資金を増加
- ・縦断走行の際に作成した資料をまとめ、今後の走行にかす

まとめ

結成 1 年目であり、未熟な部分が目立った。必要物品は、ミッションの遂行に意味を成すものをしっかりリストアップするようにしたい。今回は広報の予算を他のミッションにまわし、優先すべき部品の購入に充てたが、今後、クラウドファンディングを本格的に行うにあたって、投資者へのリターン（ポストカード等）の製品化に資金が必要となると考えられる。よく検討して予算申請をしたい。

自転車アシスト化の際に使用するソーラーパネルは、スポンサー契約した企業から提供していただき、大きな成果となった。支援していただいている立場として、責任感ある活動をし、良好な関係を築いていきたい。

縦断走行に関しては、成功という結果となった。苦労したのは公道走行を認めていただいたことである。やはり、公道を走るにあたり、安全面を心配され、すぐに走らすことができなかった。そこで、他のミッションに協力してもらい、安全な車体づくりを行い、走行を認めていただいた。車体製作に必要なデータを集めていたことが活かされたと思う。本番走行では、車道では、他の車両に迷惑をかけることなく、危険な場面もなかった

自転車の製作に関わることはなかったが、外部との交渉、連絡に集中し、縦断走行の下準備に力を発揮できた。この経験から、よりプロジェクトが円滑に機能するよう励みたい。